



## Jr. (ジュニア) 防災士講座

溶岩流の実験や非常食体験などを通して楽しく防災について学びます

Jr. (ジュニア) 防災士の講座

- ・日時 8月9日(火) 午前9時30分～午後3時00分
- ・対象 小学校4年生～6年生
- ・場所 富士河口湖町役場 コンベンションホール
- ・内容 防災のお話, 防災マップ作り, 非常食体験, 溶岩流の実験など

富士河口湖町は、雄大な富士山の麓にある自然豊かな素敵な町です。その一方で富士山噴火、南海トラフ地震、大型台風など自然災害が大変心配になる場所でもあります。

地震や台風の時、どんな危険があるかを知って、自分の命を守る方法を学んでほしいと思っています。

このプログラムに参加して防災について学習した小学生は「Jr.防災士として認定」されます。また、作った防災マップは、夏休みの自由研究として認められます。

昨年度は、コロナ感染拡大により、夏休みは中止とし、冬休みは時間を大幅に短縮しての開催となりました。今年度も感染状況によっては、内容を変更する場合があります。

### 昨年度のJr.(ジュニア)防災士講座の様子



出来上がったダンボールベッドの寝心地を確かめている子どもたち



協力しながらダンボールベッドを組み立てる子どもたち



思った以上に明るくきれいに点灯したランタンを見つめる子どもたち

## 第2回 研究会（富士山学習研究会）

### 先生方が実験に挑戦



**噴煙実験装置**  
積極的な活用をお願いします。

今回の学習会では、富士山科学研究所の先生方が研究に研究を重ねて作成してくださった噴煙実験装置と溶岩流実験装置を使って研究員の先生方が実験に挑戦しました。噴煙実験装置は、火山灰が広範囲に降る様子がわかる実験器具です。苦戦する場面もありましたが、富士山科学研究所の先生方のサポートにより全員が実験を成功させることができました。溶岩流実験装置を使った実験では、模型の富士山の火口から色水を流してその流れを確認し、噴火の場所によって溶岩流の流れが変わることを学びました。

吉本先生からは「噴火した場所によって避難が変わる。溶岩流の速さは、この辺りでは、人間が歩く速さよりゆっくりになるため噴火してからでも避難はできる。落ち着いてどこから噴火したのか確認することが大事である。」と富士山噴火について正しい情報の下に行動することの大切さが強調されました。

子どもたちに教えるためには、まず指導者が活用方法を知らなければなりません。担任一人では難しい実験も富士山科学研究所と連携することで容易にできることを今回の実験で多くの先生方が学んだのではないのでしょうか。

将来、必ず起こると考えられている富士山の噴火に対し、子どもたちが「正しく知り、正しく備える」ためにも、この実験を授業に取り入れていただきたいと思います。まず、やってみることが大切です。



**吉本先生による溶岩流実験**



**2人1組になって実験に挑戦する先生方**



### センターでは、夏休み中も相談を受け付けています。

子どもたちが楽しみにしている夏休みがやってきます。長い休みですので、生活のリズムを崩さないよう、まずは規則正しい生活（早寝、早起き、朝ご飯）を心がけ、夏休みにしかできないことに挑戦して、楽しい思い出をたくさん作ってほしいと思います。

町教育センター TEL 0555-83-3022